

どう考える立川断層と庁舎建設

高水 永雄 議員（自民新政法会）

町長 仮庁舎移転を最優先課題とし、その後検討する



質問 町には、立川断層が走っており、その上に住宅や道路などがつくられている。また、役場庁舎や福生消防署瑞穂出張所など、災害時に司令部となる施設が立川断層帯に隣接している。東日本大震災発生後、立川断層の活動周期が早まったとも言われており、住民は地震発生を危惧している。町は、早期に国の断層調査結果などを確認し、正確な情報を発信して住民の安全・安心を図り、庁舎建設にもいかしていくべきと考えるが、



国による立川断層帯調査（武蔵村山市内）

町長 立川断層の30年以内の発生確率は東日本大震災以後、2・2%に高まったと報道された。町は、立川断層が存在する5つの市と連携し、詳細な調査を急ぐよう国に働きかけ、東大震災研究所が24年度から3年間かけて行うプロジェクトが国家事業として始まっている。25年度予算では、新たに住宅耐震化施策を計上した。また、町民には、継続的に日頃の備えをして頂くよう啓発していく。

仮庁舎については、仮庁舎移転を最優先課題とし、その後、調査結果を踏まえ検討を開始する。

アレルギー疾患を持った子どもへの対応について問う



小川 龍美 議員（公明党）

教育長 十分に保護者と協議し使用方法を決定する

質問 昨年暮れ、調布市の小学校で食物アレルギーを持つ児童が、給食を食べた後死亡する事故が起きた。給食で命を落とすようなことが絶対にあってはならない。そこで、次の点について伺う。



現在活用しているアレルギーチェック表

問① 食物アレルギーを持つ子どもをどのよう把握し、事故が起きないためにどのような取り組みが行われているのか。

教育長 毎年、保護者より「アレルギー申請書」を提出していただいている。給食センターでは、その情報を活用し、「アレルギー用予定献立一覧」と「アレルギーチェック表」を作成し、必要な保護者に配布している。

問② 「お代わり」時の盲点や配り方の問題にどう対応しているのか。

教育長 担任が一人ひとりの児童・生徒について十分に確認をしている。

問③ 教職員のいざという時の自己注射液エビペンの取り扱いについて。

教育長 現在、学校でお預かりしている状況はない。使用希望がある場合は、ガイドラインに沿って、十分に保護者と協議し使用方法を決定する。

こんな質問もありました
 家庭の創エネ・エネルギーマネジメント促進の補助制度創設を
 町長 現時点では、補助制度の創設は考えていない。

公共施設に難聴者用磁気ループシステムの設置を

大坪 国広 議員（日本共産党）

町長 有効な支援を調査・研究していく

調査・研究していく



質問 町の高齢難聴者は、人口の15・4%、約5,200名以上と推計される。難聴は、家庭の中や社会的にも孤立しやすく、ひきこもりや認知症につながることも心配される。そこで、今後さらに

難聴者に生き生きとした人生を送れるように、スカイホールや町民会館、寿楽、コミセンなどの公共施設に難聴者が聞き取りやすくするための磁気ループシステムを設置するべきと考えるが、町長の所見を伺う。

町長 磁気ループシステムを導入している自治体では利用率が低いことを確認した。また、補聴器を利用する高齢者全般で、会議や音楽会など公共施設を利用する回数が総的に少ないため、公共施設へのシステム導入には至っていない。

こんな質問もありました
 バス停留所に屋根とベンチの設置を

町長 設置できる場所もあるのではないかと考えている。箱根ヶ崎駅東口には屋根を設置する。



携帯用磁気ループとパンフレット

町長 磁気ループシステムを導入している自治体では利用率が低いことを確認した。また、補聴器を利用する高齢者全般で、会議や音楽会など公共施設を利用する回数が総的に少ないため、公共施設へのシステム導入には至っていない。

議会傍聴にお越しく下さい。

6月定例会（予定）

5月23日(木)	議会運営委員会	6月10日(月)	厚生文教委員会
6月3日(月)	本会議(一般質問)	12日(水)	議会運営委員会
4日(火)	本会議(一般質問・議案審議)	14日(金)	本会議(議案審議)
5日(水)	本会議(一般質問・議案審議)		
7日(金)	総務産業建設委員会		

6月定例会における請願、陳情の受付締め切り日は、5月20日（月）になります。

■お問い合わせ 議会事務局 TEL 557-7693（直通）

本会議での一般質問や議案審議の様子は、インターネットの議会録画中継でもご覧になれます。詳細は、瑞穂町ホームページ→瑞穂町議会→議会録画中継 をクリックしてください。